

CES 活動ニュース

1. 参加者募集！「CES・さくら咲くプロジェクト 春編」

3月29日(土)に、「CES・さくら咲くプロジェクト 春編」を開催いたします。環境に興味をもっていただくと共に、春を待つ若い世代に出会いの場を提供する本プロジェクトも、最終回を迎えることになりました。シリーズ最後ということで、今回のイベントは「ウォーキング・プラス・環境物語り～桜の物語り」とのコラボレーション企画となっています。



千代田区の姉妹都市 秋田五城目町のお米を使って、自然環境から見た稲作の取り組みや、お米やぬかの再利用を学び、実際に皆さんでおむすび作りもします。また、桜の専門家の話を聞きながらウォーキングし、千代田区の桜を観察するなど、季節を感じる企画となっております。

コラボ企画ではありますが、「さくら咲くプロジェクト春編」参加者だけの交流プログラムも計画しておりますので、ご興味のある独身の方は、是非ご応募お待ちしております。



また、独身ではないけれど、プログラムに興味があるので参加したい方は「ウォーキング・プラス・環境物語り」で参加者を募っております。まだ参加枠がございますので、是非ご応募ください。

応募方法など詳細は、別添のチラシをご覧ください。

2. さくら咲くプロジェクト「冬編」～夜の公園散策～ は、雪で中止・・・。

去る、2月14日(金)に予定しておりました、「CES・さくら咲くプロジェクト」企画は、降雪のため中止となりました。

バレンタインの夜に「日比谷公園」内の散策と、“春を待つ生き物との出会い”と銘打つ企画でしたが、大雪という天候には勝てませんでした。

参加を予定していた皆様には残念な結果となりましたが、企画は、今後に生かすこととして、ご期待ください。



3. CES環境フェスタ『地球の楽校(がっこう)』が開催されました。

CESの環境啓発の一環として企画した催しは、2月22日(土)午後1時からのオープニングでスタートしました。

第1部では、“千代田のエコを考える”をメインテーマに「楽しみながら環境を学ぼう!!」とした、企業による環境への取組紹介、NPO法人コドモ・ワカモノまちingによる寸劇『アリの大冒険!千代田から宇宙へ』、JAXA(宇宙航空研究開発機構)の環境講座『宇宙から見た千代田』と



新しい試みでした。

当初予定した小・中学生の参加には必ずしもつながりませんでしたが、参加者には環境を考えるうえでの参考になったように思います。

また、先ごろ実施した「エコレシピコンテスト」の映像による紹介など、CESの活動の一端も披露させていただきました。

なお、第1部の参加者数は、一般参加者をはじめ出展者も含めて、280名余りでした。

第2部の「大縁会」は、第1部の催し終了後、午後5時15分から10階食堂において立食による2時間ほどの懇談・交流を行いました。出展者、一般参加者及び関係者など、総勢60名余の方々に参加されました。



かんきょう

先ごろの大雪により続いていた山間部の集落では、今なお一部地域で孤立状態が続いているようです。雪景色も庭先の木々や野原にうっすらと降り積もる程度だと風情がありいいのですが、ひとたび大雪になると実に厄介な存在です。

新聞報道等によると、去る2月20日の正午までに、1都5県で718世帯1397人がその被害を受けたそうです。

除雪が進まない集落では、食料や灯油などの物資の輸送が懸命に行われましたが、最多の山梨県で228世帯395人が孤立。埼玉県では200世帯407人、群馬県は113世帯205人、東京都でも168世帯376人が被害をこうむったようです。首都圏では交通網が大混乱に陥りました。また、農家では栽培用のビニールハウスが潰れ、野菜の流通に影響を与えました。また、体育施設なども雪の重みで屋根がつぶれるなど、実に多様な被害でした。

気象庁によると、今後の気温は平年並みか平年より暖かくなる。気温の上昇に伴う雪崩の危険が高まり、注意を呼びかけているようです。

雪崩の恐れなど二次被害には気を付けたいものです。

s k

